

実世界情報学科 ★2025 年 4 月開設 アドミッション・ポリシー

現実社会にある課題に取り組むためには、問題が発生している実世界の空間的状況や時間的変化を把握したうえで、人への情報提示や機器の制御によって問題の解決を図っていく必要があります。実世界情報学科は様々なセンサによる実世界情報の収集と伝送、認識と理解に基づく実世界情報の可視化や自動機器の制御を行う一連の技術を習得させ、現実的に課題を解決していける実世界情報のプロフェッショナルを育成します。

求める人物像

1. 持続可能な社会を目指すうえで取り上げられている様々な課題に関心がある人
2. 情報技術に関心を持ち、机上の知識ではなく実際に応用することに意欲のある人
3. 技術者の社会的責任について理解し、それを誠実に遂行しようとする倫理観を持つ人
4. 多様な人々と協働してプロジェクトを推進する力を身につけたい人

入学前に学習しておくことが期待される内容

実世界情報学科に入学するまでに、以下に記した能力を身につけておくことを求めます。

1. 現実の問題を抽象化して数学的に表現するとともに、基本概念や法則を活用して論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること
2. 物理、化学、あるいは生物に関し、各々に関する現象をその背後にある理論を理解したうえで筋道立てて論理的に説明できること
3. 実世界の情報や情報社会の特性、ならびに政治、経済、国際情勢等の社会問題に関する基礎的知識を有していること
4. 基本的な英文の読解力・語彙力・文法力を有すること。また、平易な英文を用いて意思を伝え、相手の意図を理解できる基本的なコミュニケーション能力を有していること
5. 国語は、基本的な読解力と論理的な文章の作文力を有すること